

科目名	オーケストレーション	形態	演習	開講期	秋学期
担当教員	梶山 宇一	単位	1	年次	2

＝授業科目の目標＝

将来、吹奏楽の指導者として役に立つ、指導のノウハウを学ぶ。授業の中で実際に DVD や CD を視聴し、聴き比べながら、より良い音楽のバランス感覚を養う。木管楽器、金管楽器、打楽器の特色が、オーケストレーションの中でどのように生かされているかを知り、各楽器のブレンドにより生まれる響きや音色の違いを比較する。音楽の3大要素であるメロディー、ハーモニー、リズム、それぞれの役割を感じ、より豊かな音楽表現ができる指導者になる基礎を学習する。

＝履修の条件と学習の方法＝

吹奏楽やオーケストラの演奏を DVD や CD で視聴し、指揮者により違う音色やテンポなど、音楽解釈の違いを学習する。授業中に聴いた参考映像(音源)をもとに、自分で感じたことを記帳し、グループごとでディスカッションをする。パートの配列(座席順)により変わる響きやバランスの違いを知り、より効果的な演奏ができる感覚を養う。吹奏楽の指揮者として、作曲者の意図に近い演奏ができるよう、幅広い知識を学ぶ。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス(講義の目標や内容)の確認
- 2回 オーケストレーションとは何か
- 3回 音楽の3大要素 (メロディー、ハーモニー、リズム)
- 4回 楽器別グループ分け(木管、金管、打楽器)
- 5回 木管楽器の特色 (フルート、オーボエ、クラリネット、サクソ、バスーン)
- 6回 金管楽器の特色 (トランペット、ホルン、トロンボーン、ユーフォニウム、チューバ)
- 7回 打楽器の特色 (スネア、バスドラム、シンバル、ティンパニ、トライアングル、など)
- 8回 音域別グループ分け(高音-フルート、オーボエ、クラリネット、トランペットなど)
- 9回 音域別グループ分け(中音-サクソ、ホルン、ユーフォニウム 低音-チューバ、弦バスなど)
- 10回 木管楽器と金管楽器のブレンド感
- 11回 ソロに秘められた特別な空気感
- 12回 パートの配列(座席順)によるバランスと響きの違い
- 13回 変拍子
- 14回 指揮者と解釈による響きの違い
- 15回 まとめ

出席状況・授業態度・提出物・試験を総合して評価する

＝その他＝

テキストは特になし